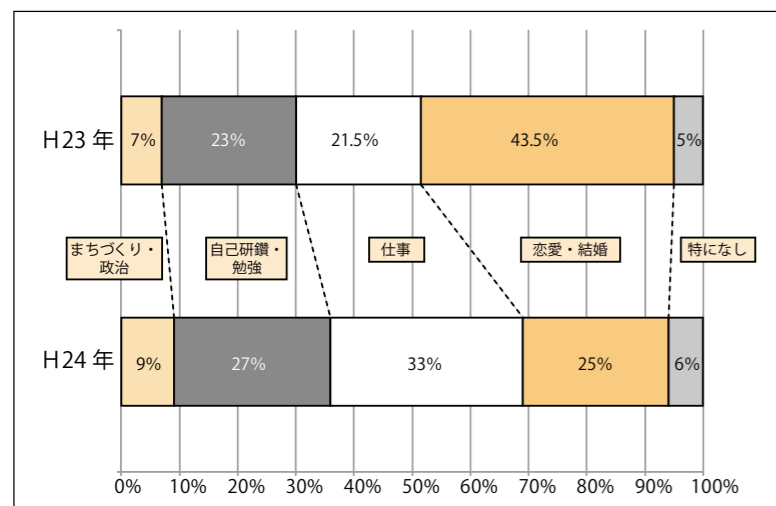
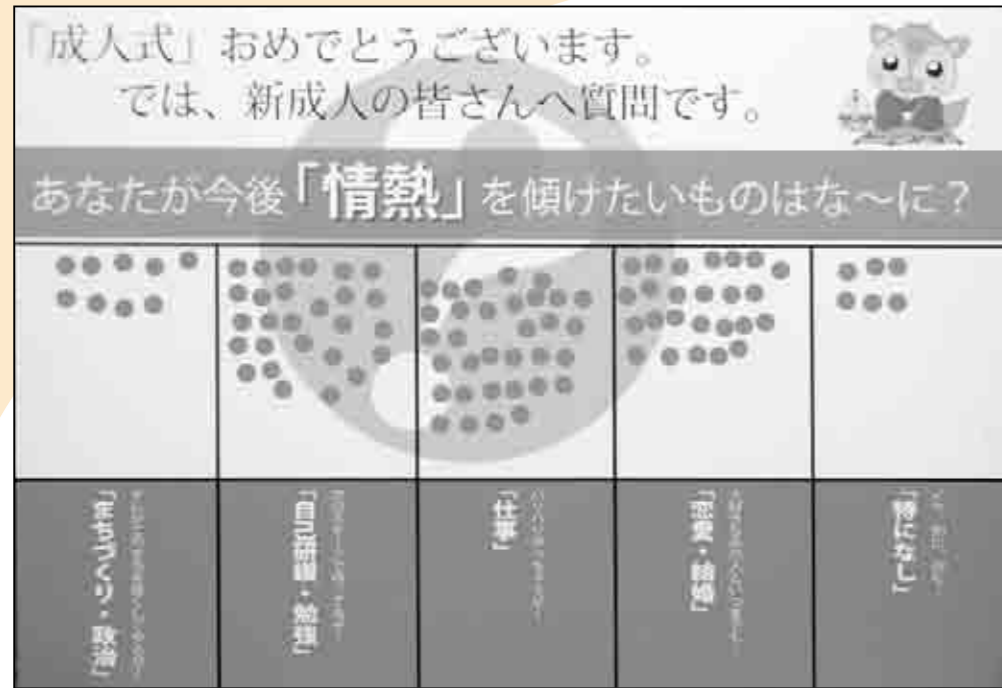


今年もやりました！新成人100人に聞く、

「あなたが今後情熱を傾けたいものはな～に？」

■今年のアンケート結果



この結果を昨年行った結果と比較してみよう。昨年は約半数を「恋愛・結婚」が占めたが、今年これが半分程度まで減り、代わりに「仕事」を選択する新成人が多くなりました。最近の経済不況や就職難などの世相を反映していることでしょうか。厳しい時代だとは思いますが、新成人の皆さん、大きく羽ばたいてください！
そして、ご協力いただきました新成人の皆さん、本当にありがとうございました。

今年の新成人は今後、何に情熱を傾けるのか
今年も昨年に引き続き、式典に参加した新成人の中から無作為に100人を対象として、昨年と同様のアンケートを実施しました。アンケートの内容は、今回新成人を迎えるにあたって、今後どういっ

た活動に熱心に力を入れていくのかを聞いたものです。
選択肢は昨年と同様で、①まちづくり・政治、②自己研鑽・勉強、③仕事、④恋愛・結婚、⑤特になし、の5つとしました。晴々しい着物や袴、スーツなどに身を包んだ新成人の皆さんに、快くご協力いただきました。

その結果は、いかに！
新成人の多くが今後情熱を傾けるものとして選んだのは、「仕事」で、全体の33%となりました。2位は「自己研鑽・勉強」が27%となり、「恋愛・結婚」が25%、「まちづくり・政治」が9%、「特になし」が6%という結果となりました。

昨年との比較

第58回都留市成人式

祝 都留市成人式

1月8日、都の杜うぐいすホールにおいて、第58回都留市成人式の式典が挙行されました。今年の市内該当者は600名で、そのうち334名の新成人が式典に出席しました。



式典は、11時から都の杜うぐいすホールの大ホールで開催されました。小林市長が「皆さんが今日、この日を迎えたのは、遡れば長い歴史の中で、何億、何万という祖先が一人も欠けることなく繋がってきたということ。昨年の東日本大震災では尊い命が無数に奪われたが、こうした命の尊さを胸に、活力と魅力にあふれた矜持と愛着のもてる地域社会を築くため、皆様の限らない可能性を秘めた若い力を本市のまちづくりに生かして欲しいと思います。」と祝辞を述べ、新成人の新たな門出を祝いました。また、多くのご来賓の方からも温かいご祝辞をいただきました。
新成人を代表しての誓いのことは、元都留第一中学校生徒会会長の石川和季さんが行いました。石川さんも昨年の東日本大震災に触れ、「日本中が悲しみにくれる中、世界中からのエール、支援が瞬く間に届き、世界のもつ、助け合う力、『絆』というものの力に改めて感動しました。未来をともに歩む仲間として世界の人たちと繋がり、少しでも多くの笑顔のある未来を作る人間になりたいと深く思います。」と成人としての決意を述べ、また、育ててくれた両親、地域の方々、先生方、これまで係わった方々に感謝の気持ちを述べました。
また、お礼の言葉は、元東桂中学校生徒会副会長の上杉真衣子さんが「本日は私たちのために、このように盛大な式典を催していただき、誠にありがとうございます。城下町として古い歴史

■上杉真衣子さん



■石川和季さん



史を持ち、豊かな自然に囲まれたふるさと都留市の伝統や文化を大切に、この素晴らしい郷土が益々発展していくよう努力していきたいと思えます。」と成人式開催に対してのお礼を述べ、式典の最後を締めくくりました。
また、当日は新成人へのお祝いとして、市内各中学校の恩師からのメッセージビデオが上映され、新成人のみなさんは当時は懐かしみ、会場は笑顔と歓声に包まれていました。